

2024 年全国認定集会

近畿地区ブロック活動報告（3施設）

* 大手前整肢学園（大阪） 認定者 1 名

◎施設内(大手前整肢学園)勉強会

・呼吸器使用中の入園者の観察点について

◎病棟内(整肢病棟)勉強会

・アトピー性皮膚炎のスキンケアについて

・人工呼吸器のアラーム対応について

・酸素療法について

・クリティカルリーダー研修後の伝達講習（フィジカルアセスメントと臨床推論）

◎看護実践報告会

・経鼻胃管チューブの自己抜去を繰り返す重心児に効果的だったミトンについて

主に勉強会を開くことが多い

* 医療福祉センターすくよか（大阪）

①個人活動：便秘対策の教育、他職種を巻き込んだの下肢のマッサージに取り組み

施設全体：キャリアパスのレベル別の研修運営に参加

今年度は看護長会と一緒にやっているが、来年度以降は認定看護師が主体に行う予定。

②課題：認定看護師の高齢化です。既に 1 人定年を過ぎており、今年度末にもう 2 人定年を迎えます。認定更新者も減少している。

今後、活動を維持していけるか悩ましいところです。

③今後の展望：今年始めた活動をいかに維持していけるかにかかっています。

* 愛徳医療福祉センター、中山（近畿 1 期生）現在認定者は 2 名居るが、活動は 1 名のみ。

1. 各施設の認定者の活動状況（スタッフ教育の取り組み含め）

① 現任教育：自施設での職員への教育、指導

（重症心身障害看護、整形外科看護、呼吸器障害とその看護

「入所者のポジショニング・姿勢等安全管理検討チーム」の発足運営）

② 施設外活動：自立支援協議会、県特別支援学校医ケア協議会

③ 看護学生講義：看護専門学校・医療系大学看護学部での講義

「健康障害をもつ子どもと家族の看護」

④ 看護学生実習の受け入れ、指導

N 看護専門学校

T 医療保健大学和歌山看護学部

2. 課題

* 認定者の人材育成（人材確保が難しく、研修に出せる余力、人材が少ない）

3. 今後の展望 等

* 全国認定集会の今後の継続的な開催について

各ブロックで検討し連携・協力をお願いしたい。

* 全国認定集会の代表窓口の後継者の選任の検討をお願いしたい。